

北海道エゾシカ問題



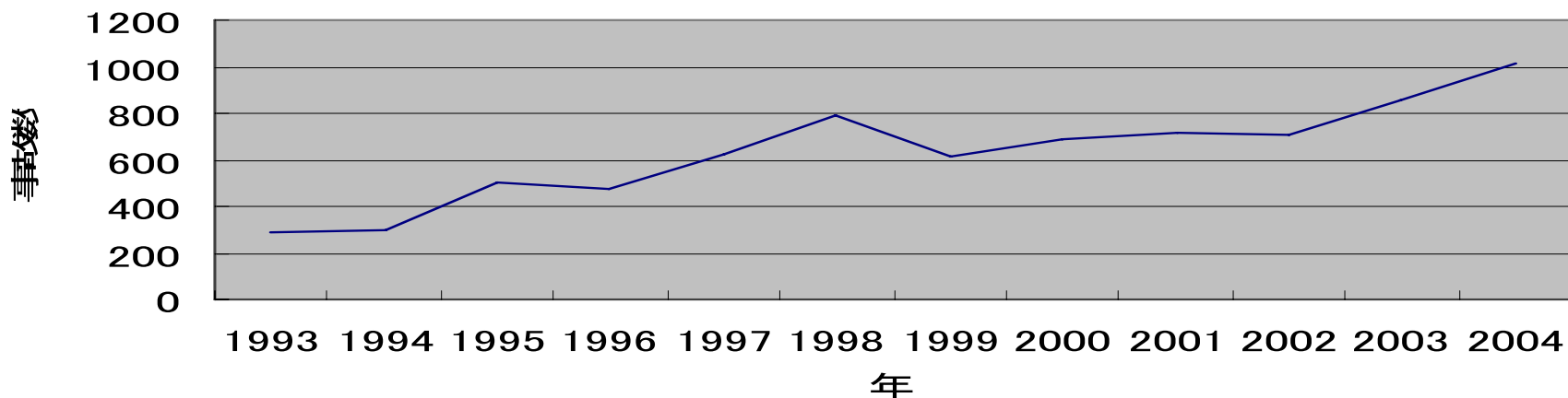
A班：谷口、渡邊、花井、光

要約

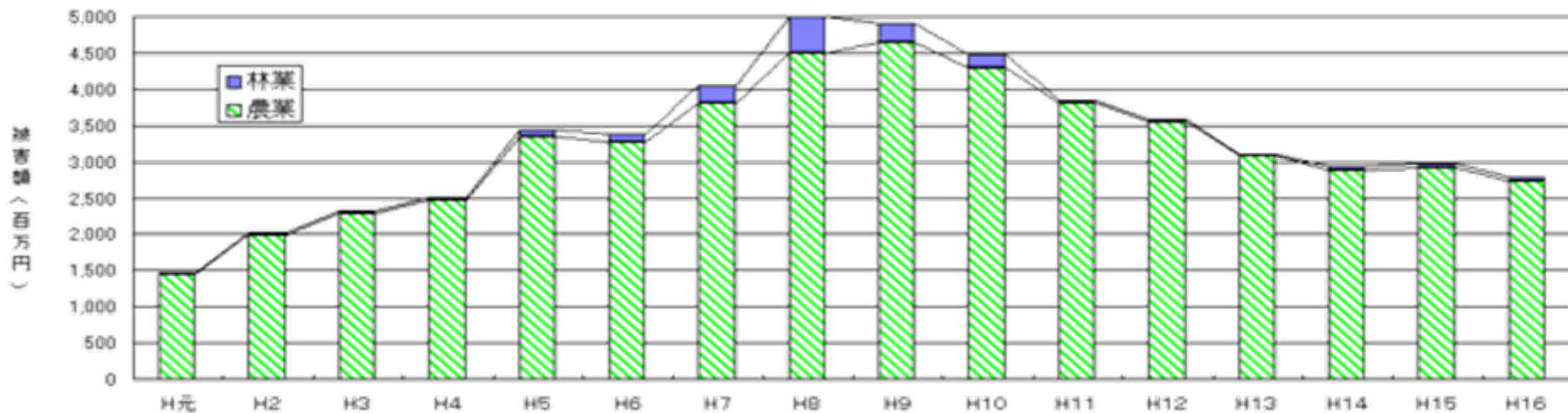
北海道ではエゾシカの増加が深刻化している。道内に推定で30万～40万頭いるとされ、列車との衝突事故は、10年間で2.5倍以上、自動車事故は3倍以上に増えた。エゾシカによる農林業被害は年30億円にのぼり、行政機関は交通標識やフェンスなど様々な対策を立てるが特効薬は無い。

現状～シカ被害～

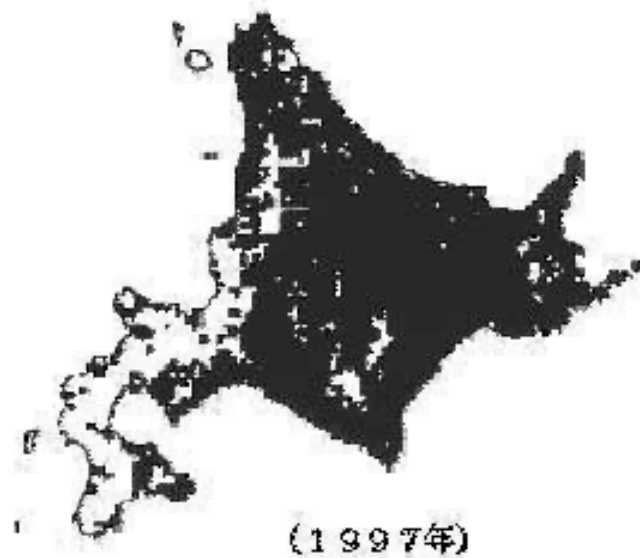
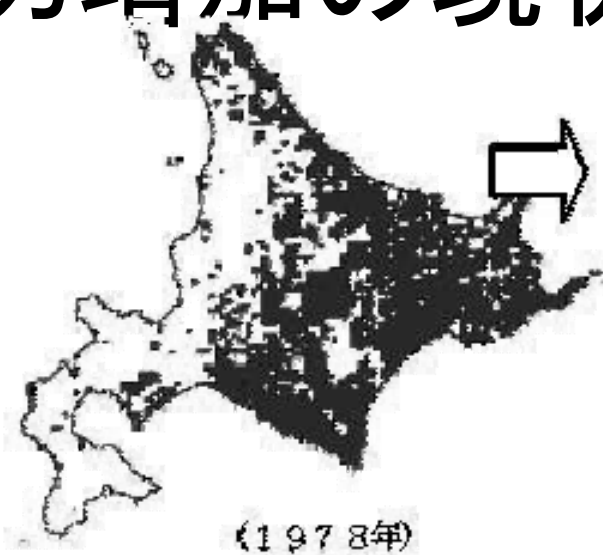
列車事故数推移



農林業被害額(北海道全域)



シカ増加の現状



- 明治初期には絶滅寸前まで激減し、その後保護政策により数は回復したが、現在では逆に30万～40万頭となり増えすぎている

シカ増加の原因

- 温暖化 雪が少ない→餓死の減少
- ハンターの減少→高齢化と低収入
- 天敵の不在→捕食動物の絶滅
- 15%～20%と高い繁殖力
- 保護政策

既存の対策

被害への対策

- フェンス
- 木にシカの嫌がる薬を塗る
- 木に針金を巻く
- シカの嫌がる音

シカ増加への対策

- 狩猟の規制緩和
- 捕獲 特定鳥獣保護管理計画

期待される解決策～シカ肉利用～

■ シカ肉利用

ヨーロッパでは高級食材のシカを流通させハンターの増加とシカ減少に役立てる。

現状では捕獲されている大部分は破棄されている。

■ 問題点

シカ肉の扱いが困難

→処理の技術、食肉処理場が必要

品質が不安定

→個体や処理の仕方によるバラツキ。牧場が必要

供給が不安定

→狩猟時期の制限。処理場、流通の未整備

国内の需要があまり無い→今では日本人に馴染みがない

例：阿寒グリーンファーム

日本初の養鹿場でシカ肉産業が発展しつつある。まだシカの減少にはつながっていない。

我々の提案

■ オオカミの導入

シカの天敵であるオオカミの導入で生態系のバランスを取る

ハイイロオオカミ

絶滅したニホンオオカミに近い種（韓国に生息）

■ 地域の特徴を生かす対策をとるべき

- ・都市部に近い地域ではシカ肉利用（主に道西）
- ・自然の多い地域ではオオカミの導入

知床国立公園をモデルに考える

- シカは現在約2万頭→8千頭が目標
仮に10年目標とすると毎年3000頭の捕獲が必要
- オオカミは60頭(縄張り範囲を考慮)
- 毎年約1200頭捕食され、残りは狩猟で調節する

オオカミ再導入による影響

メリット

- 生態系の安定
- コストが低い
- エコツアーの発展

デメリット

- オオカミの管理
- 安全面
- 家畜被害

デメリット

■ 安全面

住民の理解を得るのが困難

しかし基本的に人間を襲わない

例：過去50年間で全世界で17人のみ

■ 頭数の管理

縄張り、シカ(エサ)の制限で飽和するので増えにくい

人の手で頭数など管理を行う

導入した時のシミュレーション

オオカミ導入

■ 費用

オオカミの輸入費

家畜への補償費

ハンター(害獣駆除費)

■ 収入

エコツーリング

現状の対策を継続

■ 費用

ハンター(害獣駆除費)

こうなればオオカミ導入が有効だと言える

収入～エコツアー—経済効果～

- イエローストーン国立公園におけるオオカミ導入前後の観光客数の変化

90年～94年：14,846,852人

95年～99年：15,279,180人

→約3%の増加。これを知床に当てはめる

- 2005年の入園者数：1,732,029人→1,783,990人
およそ5万2千人の集客増が見込める。

- 1人あたり10,250円の観光消費額を生む

→約5億3千万円の収入増

費用～補償と駆除費用～

■ 家畜補償

イエローストーンの例を当てはめる

7年間で牛41頭 羊256頭

知床では牛2頭 羊9匹 補償費約150万円

→家畜被害はほとんどと言って良いほど無い

■ 駆除手当て

約1頭当たり5千～2万円(各自治体で異なる)

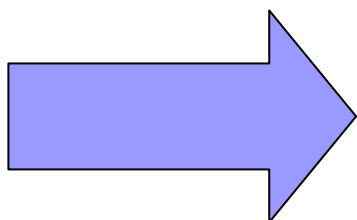
特定鳥獣保護管理

- 目的 地域個体群の長期にわたる安定的維持、人と野生鳥獣との共生
- 対象 著しく減少又は増加している個体群
- 方法
 - (1) 地域の実情に応じた必要な狩猟制限等の設定
 - (2) 生息環境の保全、生息環境の整備
 - (3) 被害防除対策の実施
など

例：クマ、シカ、サル、イノシシ

結論

■ 知床でのオオカミの導入



エコツアーの発展
生態系のバランス回復
エゾシカ被害軽減

■ 地域に応じた対策が望ましい

道西→シカ肉利用を推奨

道東→豊かな自然を生かすためオオカミを導入

参考文献

- 北海道庁
- 日本オオカミ協会
- 社団法人エゾシカ協会